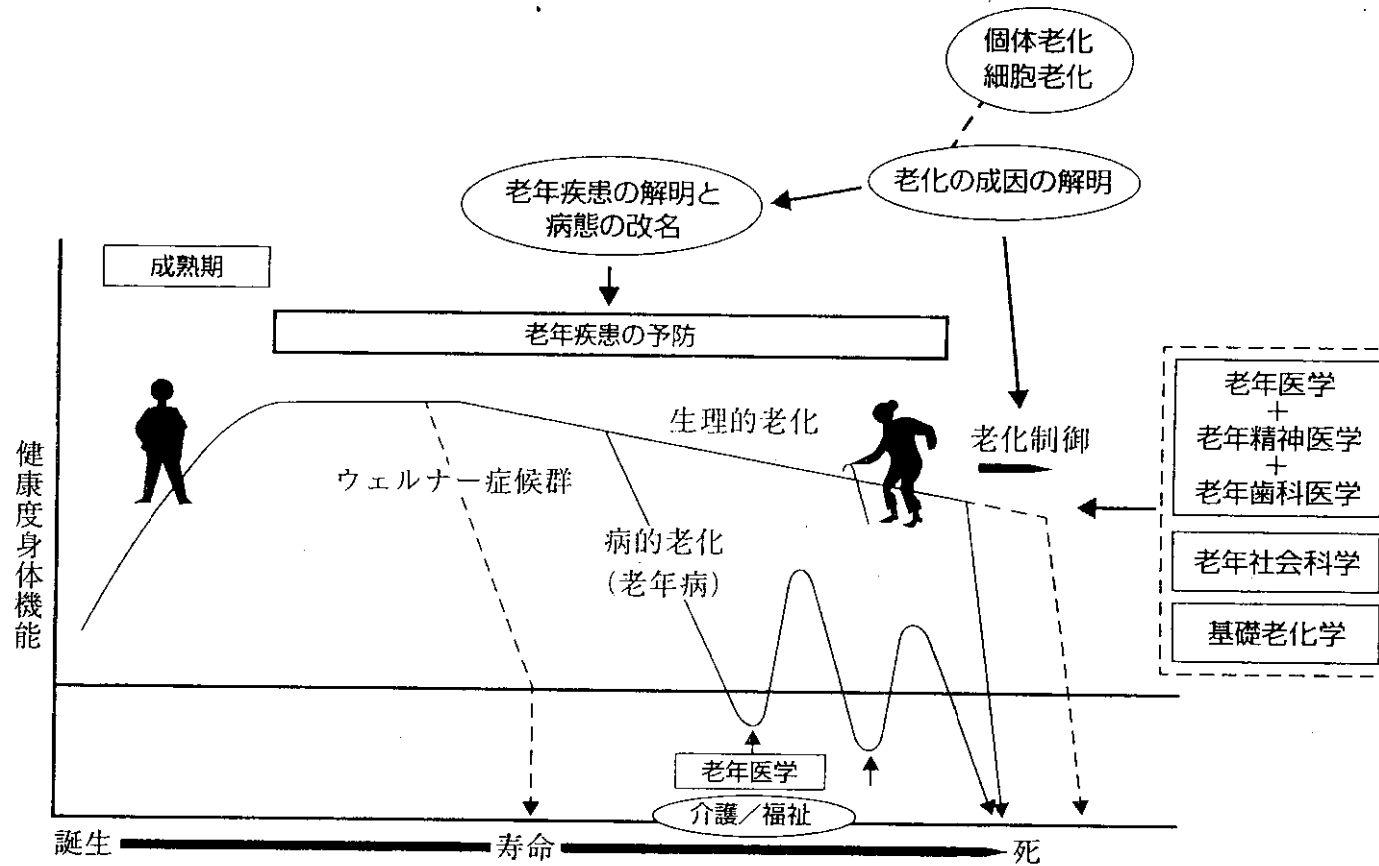
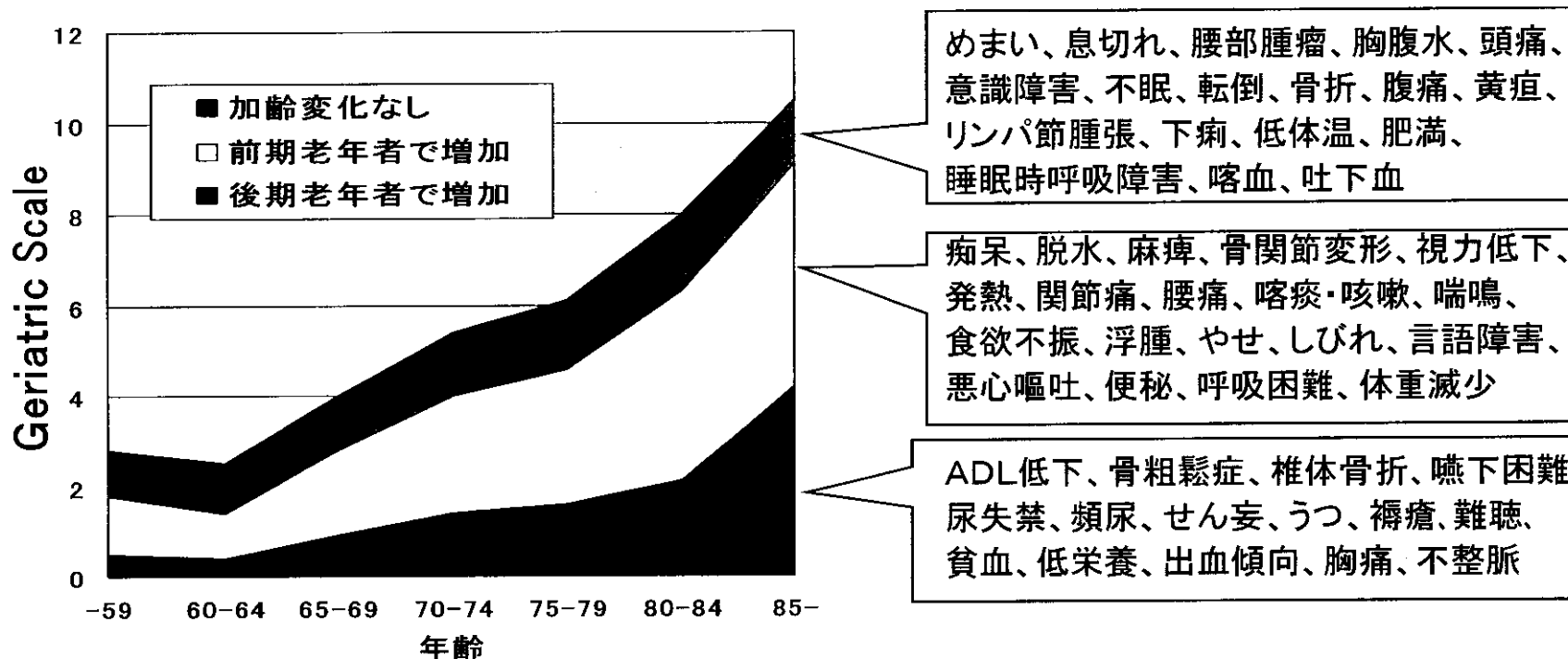


人間の一生から見た高齢者医療 及び医学の基本的考え方



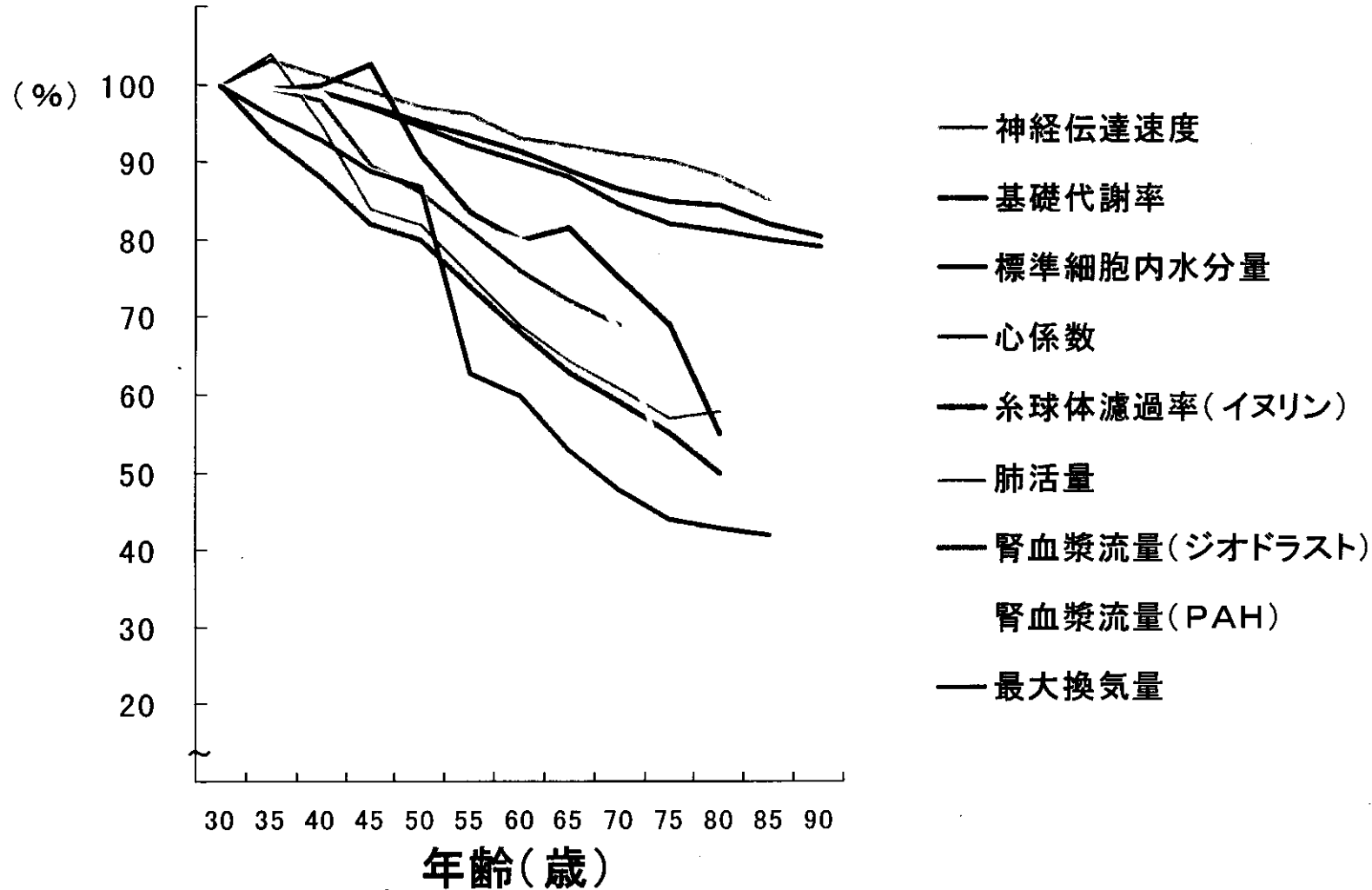
老年症候群

定義：老年期に多い臨床徴候であって、種々の原因で起こるが、原因の如何を問わずその徴候そのものに対する対処（対症的なアプローチ）が必要なもの



資料出所：大内尉義、鳥羽研二「高齢者の新しい総合的機能評価方法の開発とその応用」
第41回日本老年医学会学術集会記録

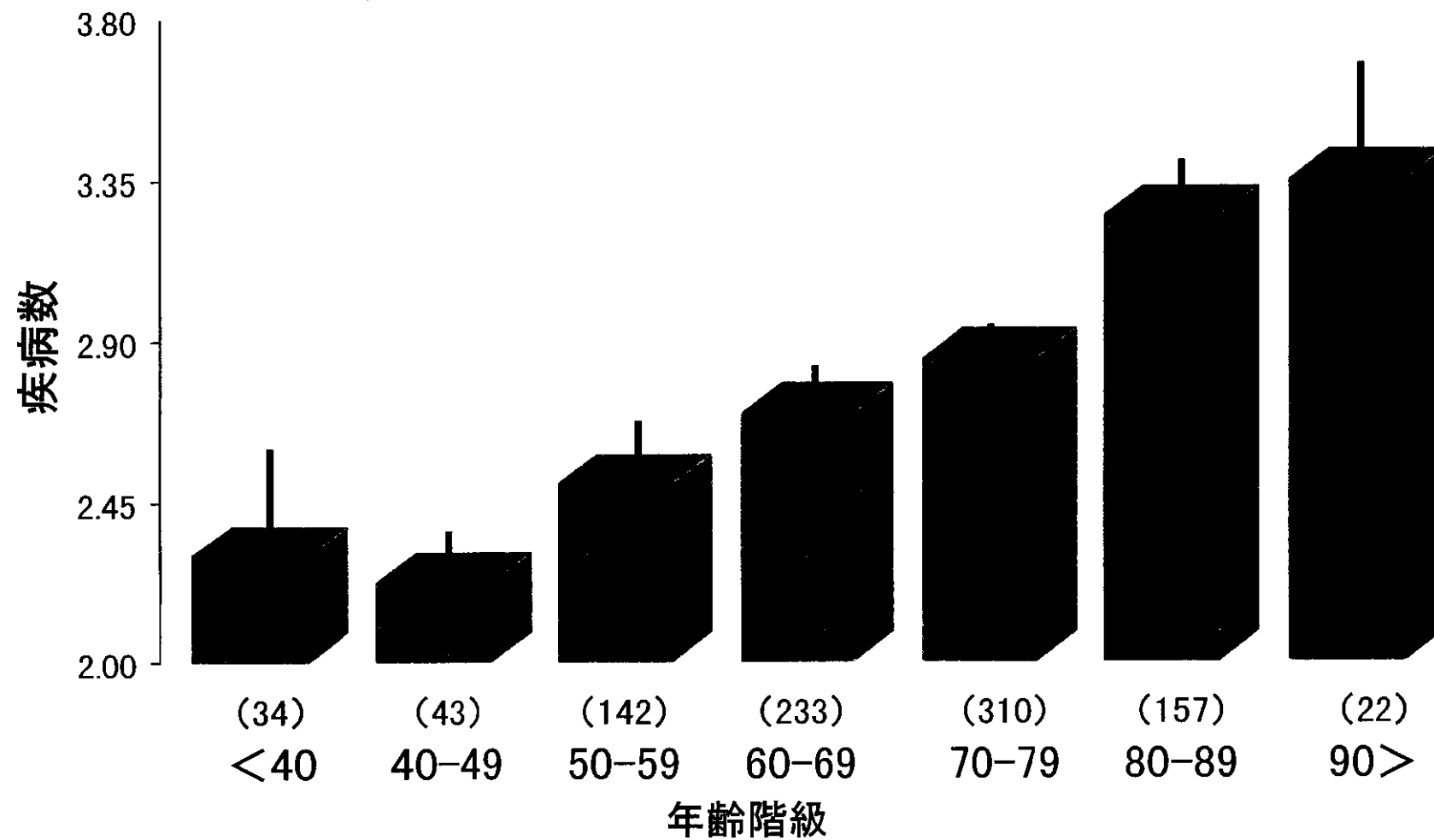
生理機能の老化による変化 (30歳を100として比較)



資料出所: Shock NW: in Handbook of the Biology 1991

年齢階級と疾病数

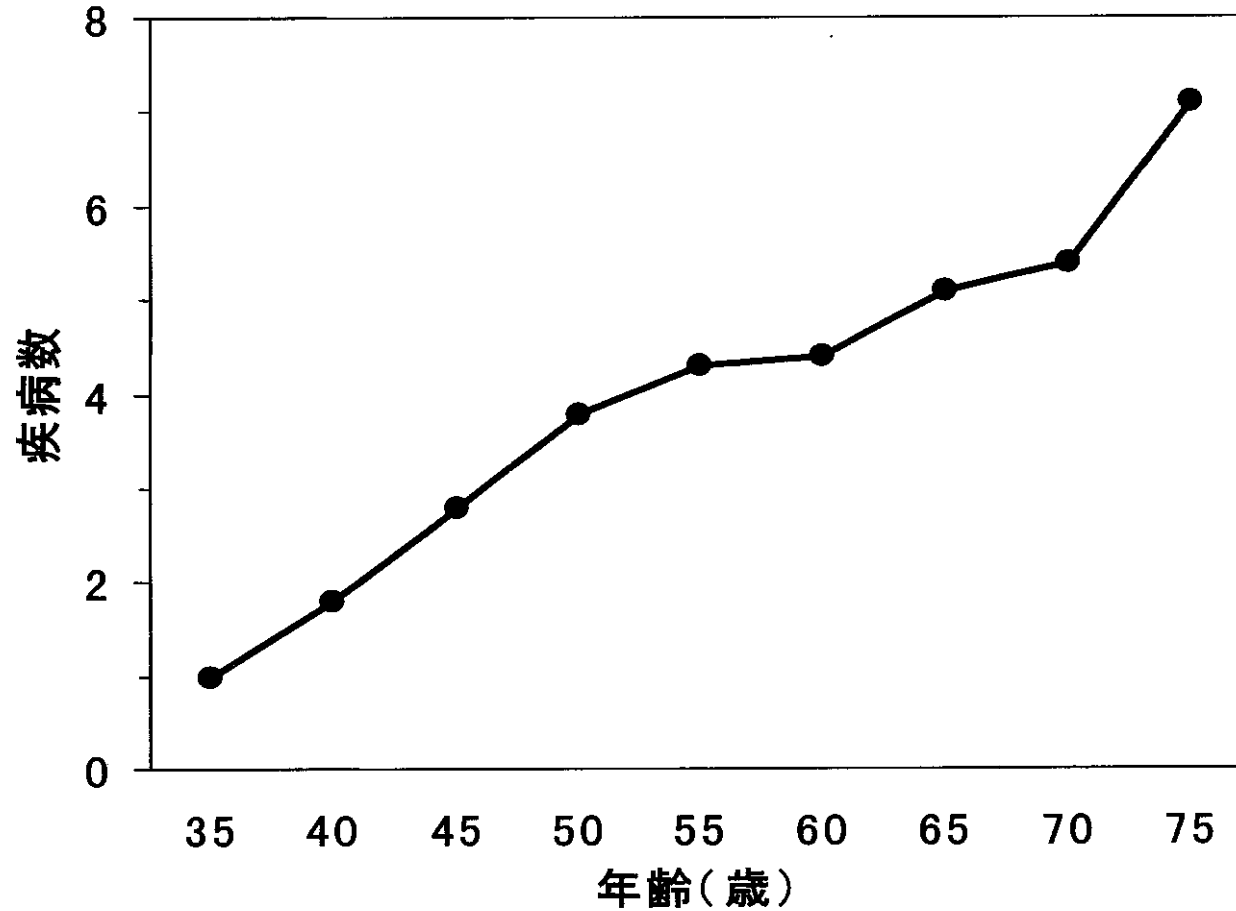
(東大病院における臨床データ)



資料出所:東大老年病学科

加齢と合併疾病数の関係

(杏林病院における臨床データ)



資料出所: 秦 葭哉・他「高齢者と薬物療法」 診断と治療 79, 1991

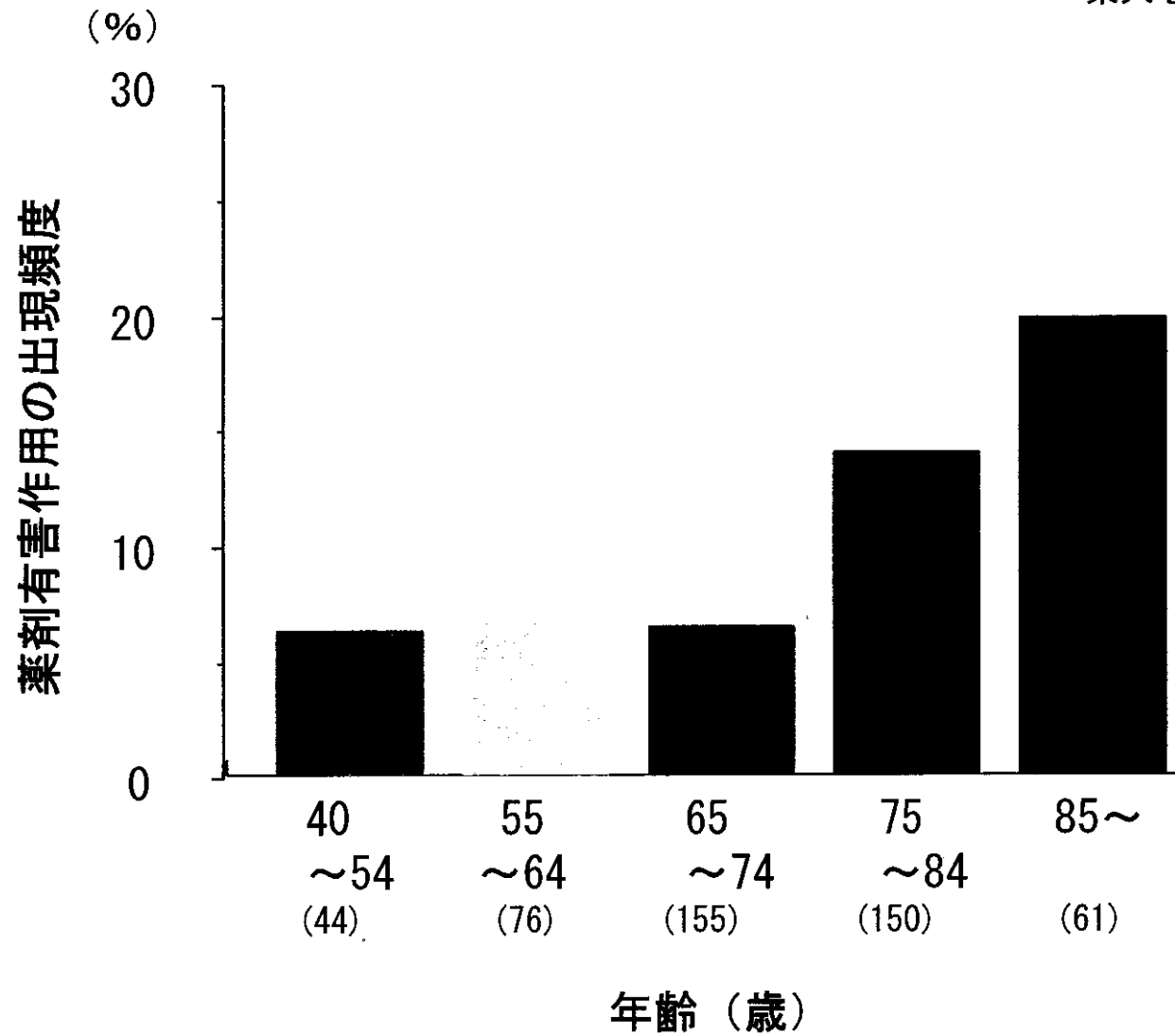
入院症例の投薬数、薬剤有害作用の検討

対象と方法

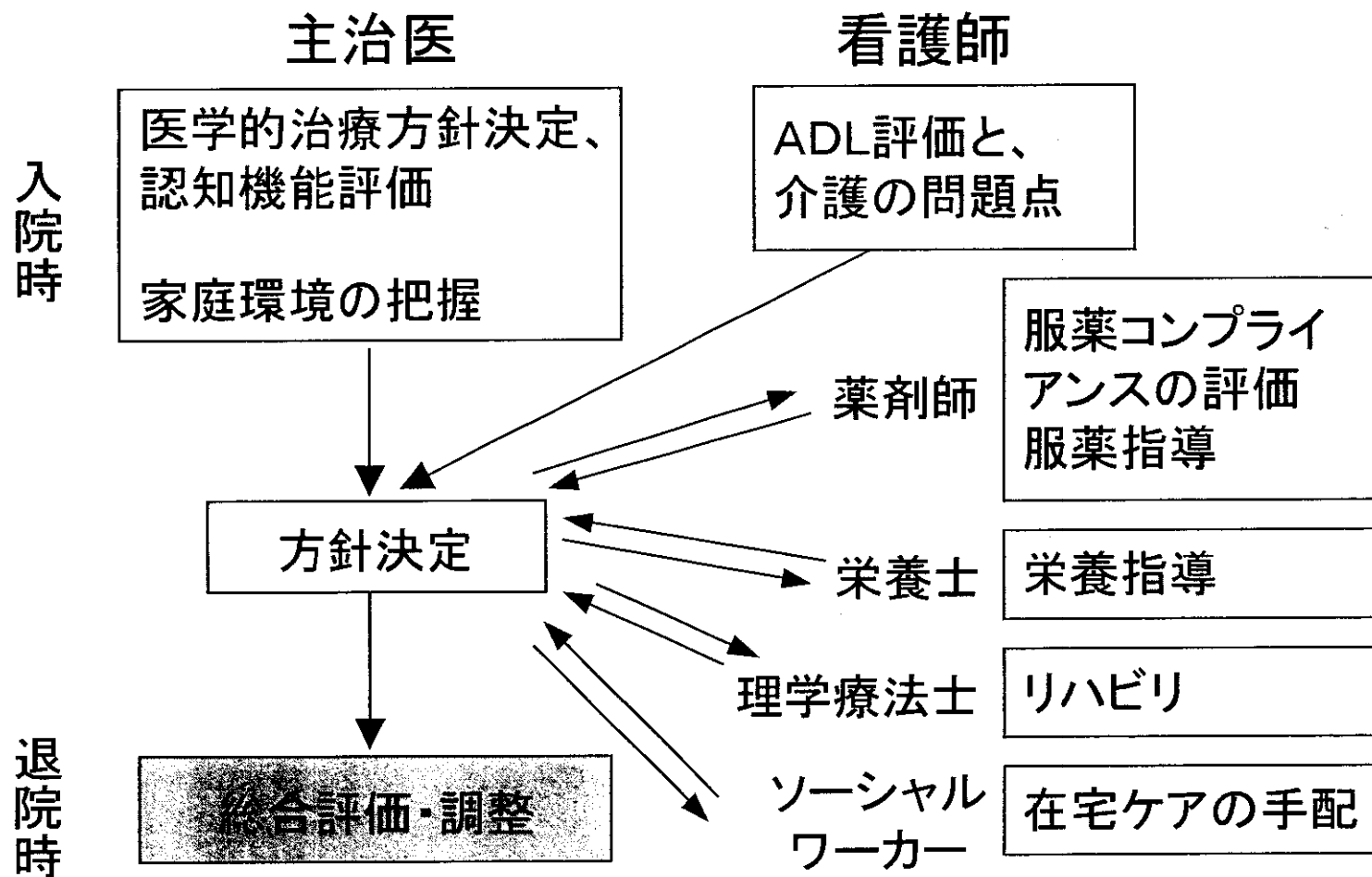
1995年11月～1998年4月までの東大老年病科
入院473症例(平均年齢69歳)を対象とし、
退院病歴カルテに薬剤副作用が記載された
60症例を分析した

薬剤有害作用の出現頻度と加齢

東大老年病科1995-1998

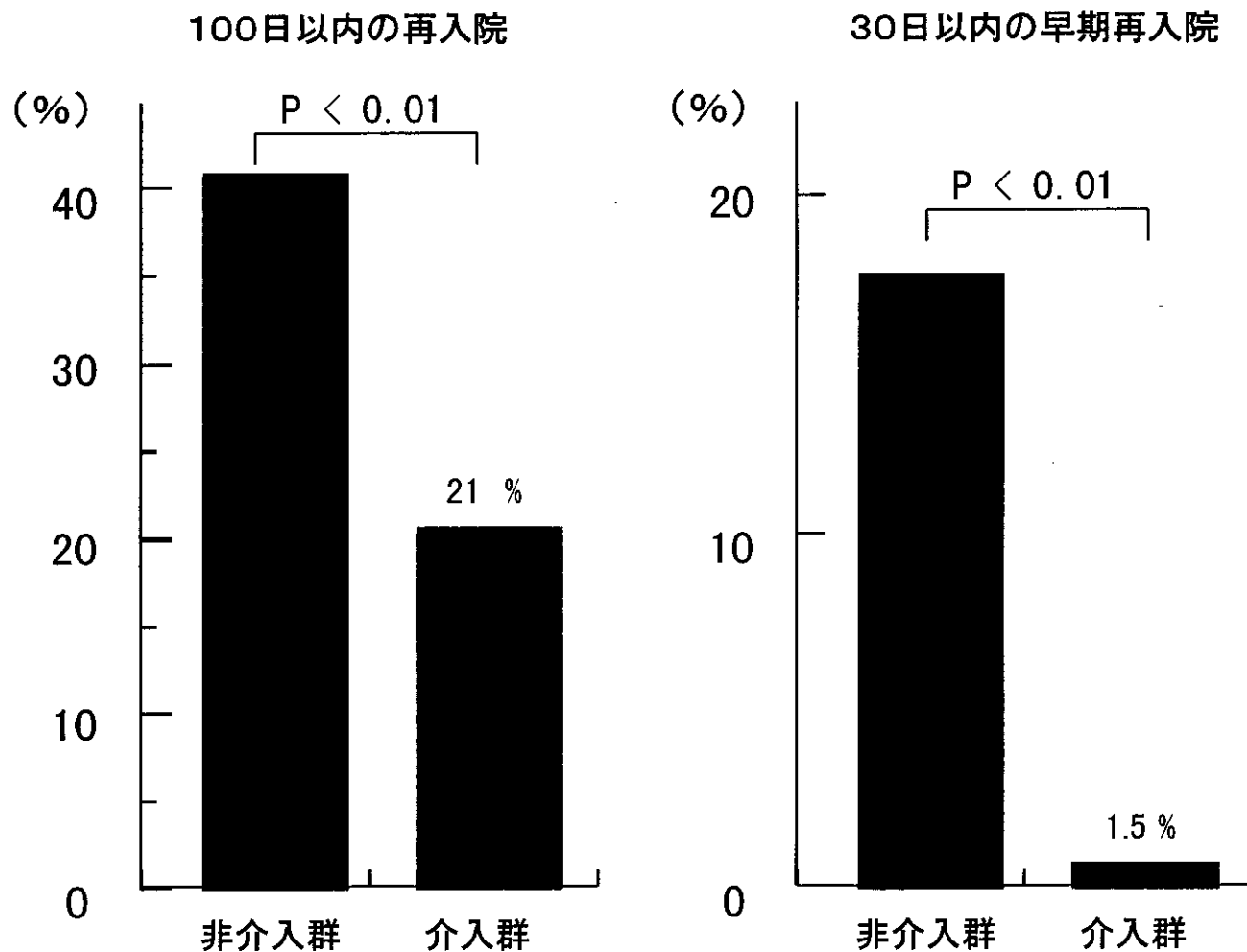


総合的機能評価（CGA）アプローチの概要



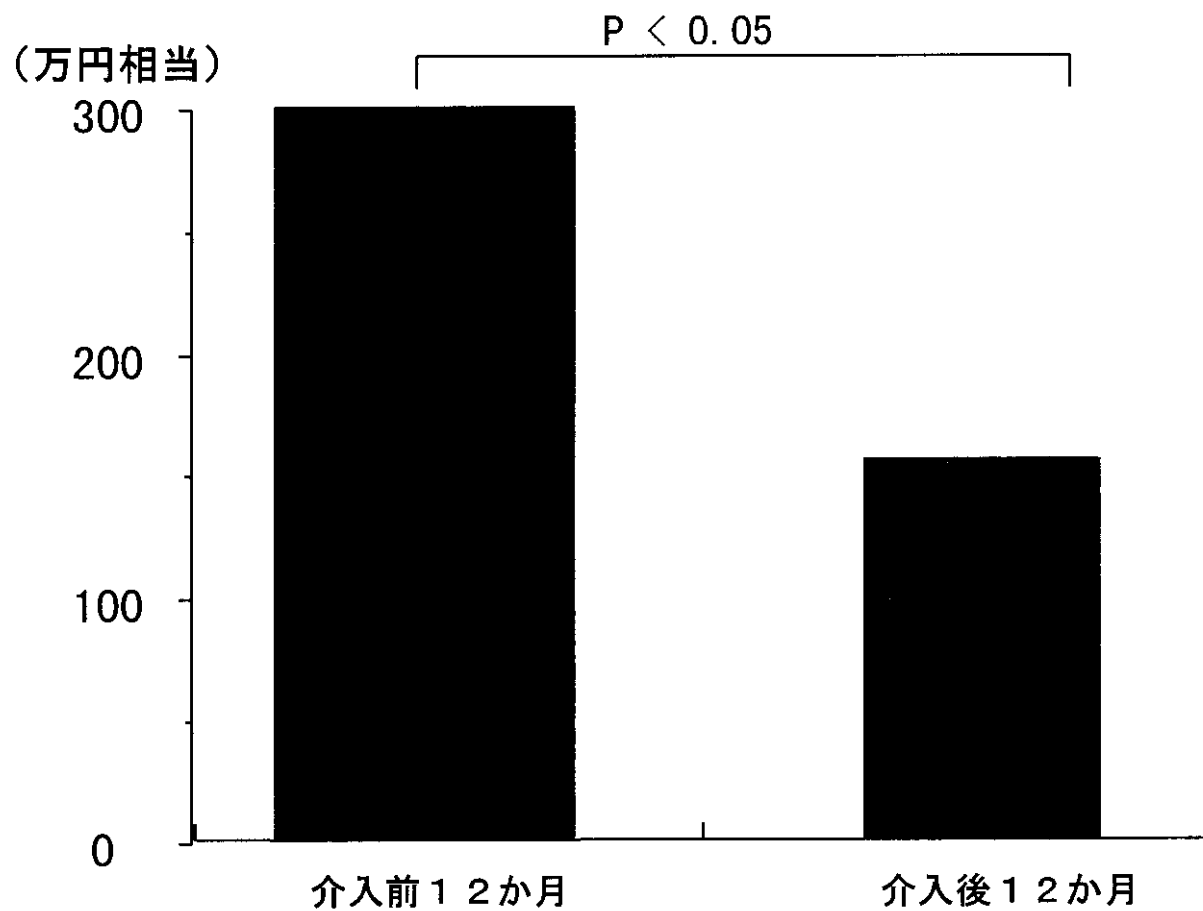
資料出所: 西永正典、中原賢一「慢性心不全患者に対する包括的評価とケア」Ger Med 36, 1991

高齢心不全患者の退院後再入院の割合



資料出所: 西永正典、中原賢一「慢性心不全患者に対する包括的評価とケア」Ger Med 36, 1991

介入前後の総医療コストの比較



資料出所: 西永正典、中原賢一「慢性心不全患者に対する包括的評価とケア」Ger Med 36, 1991